

バスマップ沖繩の 取り組み



2015年10月8日 於 サザンプラザ海邦
バスマップ沖繩 谷田貝 哲

バスマップ沖繩 概要

バスマップ沖繩

「バスマップ沖繩」は、**本当は便利なのに**、「わかりにくい」「不便」とされる沖繩の路線バスを、多くの県民、観光客に利用してもらおうと活動している市民団体です。



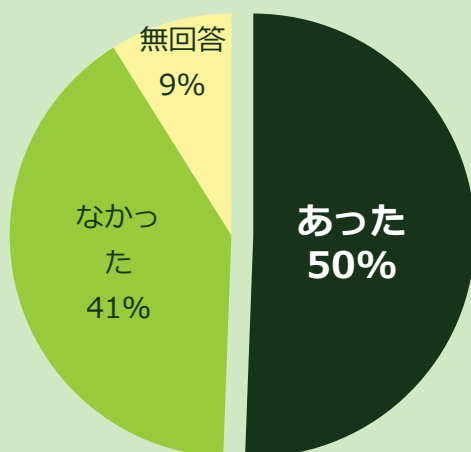
左：中南部版全体図、中：同拡大図、右：Web版バスマップ

バスマップ沖縄 マップ概要

内容	路線図,のりば案内,公共施設アクセス案内等 (Webサイトは系統別の路線図や時刻表も)
対象	沖縄県内全域
仕様	中南部版、北部・離島版の2葉(A1)で1セット。
配布数	2008年11月に初版発行。各版5000~1万部、7年間で10刷、計5万5000部発行
配布箇所	那覇空港、那覇市役所庁舎、沖縄総合事務局、書店、ホテル、観光案内所等で常時配布のほか、環境系イベントでも出展、配布。遠方の入手希望者には郵送対応(送料先方負担)
その他	意見、感想等把握のためのハガキを同封。 Web版にはフォームを設け、質問に対応

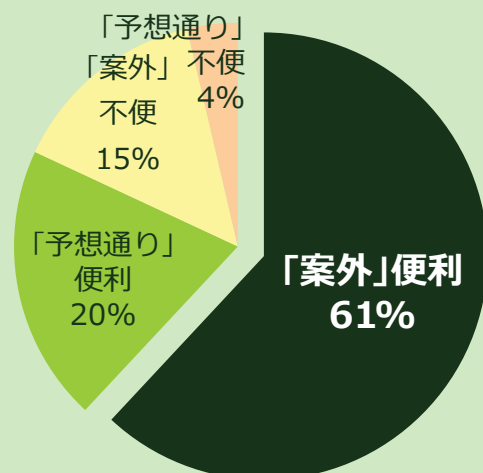
効果:バス利用のきっかけ作り

クルマの代わりにバスで出かけたことが



バスマップが、バスを使ってみる「きっかけ」としての役割を果たしたと考えられる。

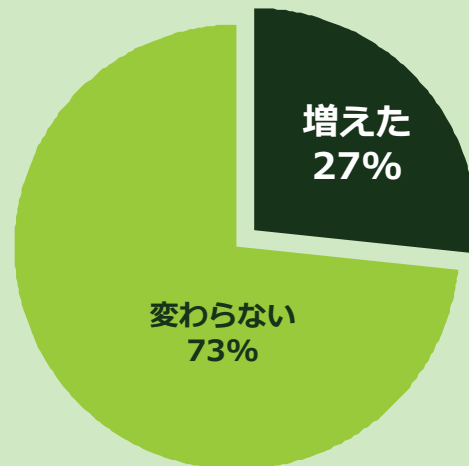
そのときに利用したバスは



「バスは不便」との先入観と、実際の利便性のギャップを感じさせる結果。

効果：交通行動に変化

日常的なバスの利用頻度



バスの利用日数は、一週間あたり平均で約1.1日増加。

バスマップは、バスの利用促進に有効といえる。

主な活動-デイケア施設との協働



バスマップの折り、袋詰めや納品作業は、那覇市内の精神科デイケア施設で、施設利用者のリハビリの一環として実施していただいている。

主な活動-その他の作成物



那覇市の公共交通ハンドブック
 那覇市への転入者に、市内の交通情報を提供(A6版32p。市役所で1万部配布、2011年)



外国語版バスマップ
 バスマップの抜粋版を英語、韓国語、中国簡体字、繁体字で作成協力。2011年～)

主な活動-交通・環境系イベント



なはモビリティウィーク&カーフリーデー

“バスの使い方アドバイスコーナー”を出展:使い方の案内、バスマップ配布等

全国バスマップサミットinおきなわ (2009年秋) 各地のまちづくり系市民団体が持ち回りで開催



主な活動-メディア等



路線バスの強力なお供
「バスマップ沖縄」

中南部版、北部版の2冊セットの「バスマップ沖縄」には、沖縄本島の全路線地図をはじめ、主要バスターミナル別の発着リストなど、バス族に必要な情報が網羅されている。

「バスマップ沖縄」は那覇空港1階の観光案内所や那覇市役所（仮庁舎）、那覇市観光案内所などで無料で配布。Web版もある。県外へのマップの発送や、バス利用のアドバイスにも対応。詳しくはWebサイトへ。
http://www.kotsu-okinawa.org



Coralway (JTA機内誌)

2011年1/2月号

BRUTUS (マガジンハウス)

2012年3月15日号

バスグラフィック (ネコパブリッシング)

Vol24. 2015年7月



バスへの一般的な評価

みんなが抱いているバスのイメージは、

- ・ 運賃が**高い**？
- ・ 路線、利用情報が**わかりにくい**？
- ・ 運行本数、頻度が**少ない**？
- ・ 所要時間が**長い**？
- ・ 運行ダイヤが**不正確**？
- ・ 乗務員が**無愛想**？ …などなど

結局、バスは不便なのか？

バスは不便だからみんな使わないのか？

バスの3つの課題

活動を通じて感じる課題

1. みんな、不便だからバスを使わないわけではない。そもそも**自家用車が移動手段の全て**、との認識。
2. また、実際にはバスはあまり不便ではないが、みんなそれを知る必要もなく、「バスは不便」と**思い込んでいる**。
3. ただ、一つ認めざるを得ないのは、「バスはどうしても**わかりにくい**」こと。

バス交通の課題を解決し、みんなが適切な交通手段を利用できるようにするためにはどうしたらよいか、一緒に考えましょう！

ヨーロッパモビリティウィーク & カーフリーデー 2015



2015年のテーマは

「Choose. Change. Combine. (選んで・変えて・組み合わせよう 賢い移動)」です!

毎年9月16~22日に世界各地で「ヨーロッパモビリティウィーク」という社会的なイベントが行われています。

環境問題を都市交通の面から対処していくため、また街に人中心の賑わいを創り出していくため、「車の使い方」を見直そうというプロジェクトです。

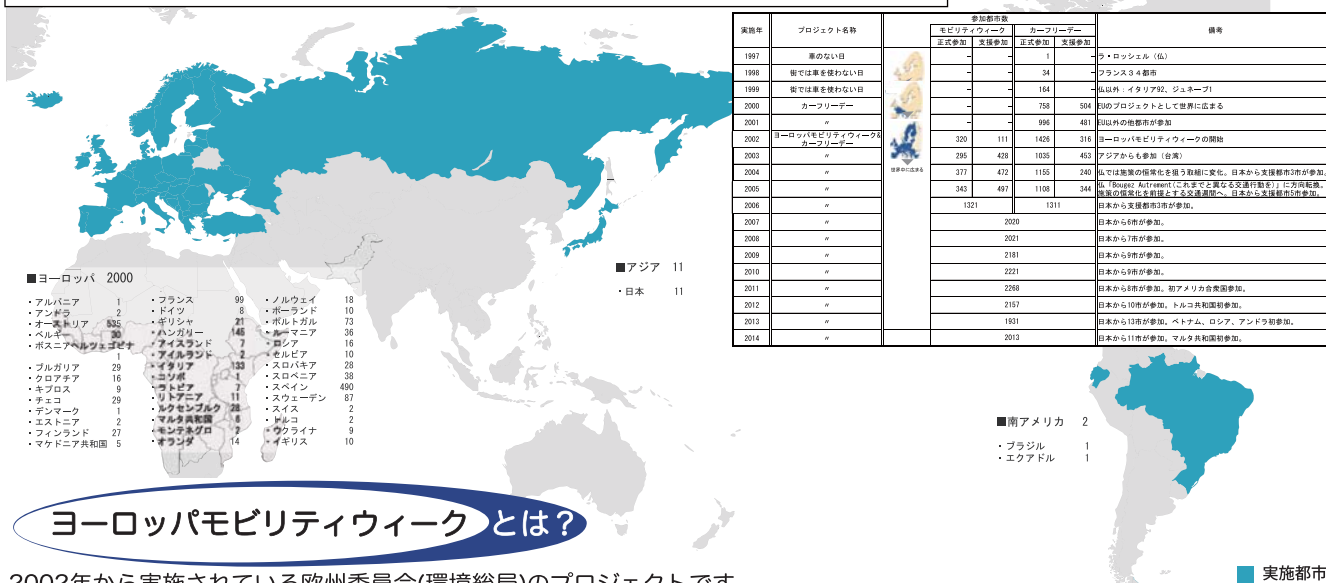
過度に車に依存しない環境づくりを目指し、市民の「車」への意識を少しでも変えてもらおうという社会啓発の意味合いをもっています。

私たちは、このプロジェクトが、地球環境問題や中心市街地活性化に寄与するものと考えております。

ヨーロッパモビリティウィーク
参加都市数2014
2013都市

こんなにたくさん参加しています!

ヨーロッパモビリティウィークへの参加都市分布図 (2014年)



ヨーロッパモビリティウィークとは?

2002年から実施されている欧州委員会(環境総局)のプロジェクトです。

カーフリーデーを発展させたプロジェクトで、カーフリーデーの前一週間を都市交通を考える交通週間として位置づけ、新しい交通施策を展開する機会となっています。

毎年決められるテーマに従い、公共交通機関・自転車・生活道路・緑の道等のほか、都市文化・公共空間・健康・安全を考える催しが日替わりで行われます。

市民1人1人が持続可能な都市交通や移動方法について考える機会となることを目指しています。

こんな目的で行います

社会啓発

- ・車と地球環境問題
- ・車と都市交通
- ・車と都市文化
- ・カーフリー空間の体験

を考える

新しい施策の開始

- ・市民への周知
- ・新しいシステムの紹介
- ・新施策のスタート

の機会とする



生活のための道



緑道の推進



公共交通機関の強化



自転車利用の促進



作成者：カーフリーデー・ジャパン



カーフリーデーの様子 ・日本では



2014年の様子

●松本市●

実施主体：松本市ノーマイカーデー推進市民会議（行政支援の市民団体）
（一般企業、交通事業者、大学、警察等約40団体が構成）



トランジットモールの様子1



トランジットモールの様子2

今年で11回目の参加です。

9/21のカーフリーデーでは、4つの通りをカーフリーエリアに設定し、各通りでオープンカフェや街角コンサートなどが行われました。また、今年は市民団体主催のイベントとも協力し、普段は公共交通を利用しない市民に対しての利用促進を促しました。

一昨年に引き続き、大名町通りでトランジットモールも実施。前回、バスは一方通行とし反対方向のバスは他の道路を迂回するように実施されましたが、今回はバスを迂回させず交互通行とするトランジットモールが実施されました。

モビリティウィーク期間中は、市内路線バスを100円で運行、バスの利用により協力商店で特典が得られるキャンペーンを行い、バスの利用を促しました。また今年はコミュニティラジオ局の協力により、カーフリーデー会場からの中継を行い、イベントの状況や趣旨が広く周知されました。

一般社団法人セブンイレブン記念財団による助成事業

【「人と地球にやさしい交通」パネル・ポスター展示、パンフレット配布、アンケート実施】

8月に松本市にて「人と地球にやさしい交通」ワークショップを実施し、松本市の皆さんにご協力いただき、交通手段による必要空間面積の違いがわかる写真を撮影しました。

そして、その写真を用いて、交通手段により地球環境・まちに与える影響を説明し、交通について考えてもらおうきっかけとなるようなパネル・ポスターなどを作成しました。

ポスター・パンフレット・ポストカードは各参加団体に配送し、カーフリーデーの啓発活動に活用していただきました。さらにワークショップを実施した松本市では、パネル展示やアンケートも実施されました。（モビリティウィーク期間には松本駅にてパネル展示、カーフリーデー当日は観光案内所でパネル展示、会場内を回りアンケートを実施しました。）



作成したポストカード



写真撮影の様子

●福井市●

実施主体：カーフリーデーふくい実行委員会
（市民団体主導での実施）



「ちょい旅」ブースの様子



バスの乗り方教室の様子

今年で8回目の参加です。

県庁、市庁にて「モビリティウィークふくい2014」（9/16-19）として、モビリティウィーク&カーフリーデーパネル展を実施。県及び市の交通施策の紹介と合わせてカーフリーデーの紹介およびイベントを事前告知し、多くの県庁、市役所利用者へのPRが行われました。

9/20・21の「カーフリーデーふくい2014」は福井駅前で実施。今年新たにバス・電車のフリーキップを利用してお出かけする「バス電車であい旅」イベントが行われました。また、福井市地域交通課と協力し公共交通の役割・利用の説明をするお出かけ教室、交通まちづくりやレンタサイクル、路面電車の紹介をするブースも設けられ、たくさんの来場者で賑わいました。

関連イベントとして10/5に実施された「まちフェス」においても、パネル展示やバス電車のお出かけ教室、「バス電車であい旅」などのイベントが行われました。

実施主体：愛知県豊橋市役所（行政主催）

●豊橋市●

今年で2回目の参加です。

9/16~22はモビリティウィークとして、主要公共施設などで、カーフリーデーや豊橋市交通施策のパネル展示やチラシを配布。また、豊橋市職員における積極的なエコ通勤も実施されました。

9/20には文化交流施設のこども未来館にてカーフリーデーが行われました。昨年も好評だった「バスぬりえエコバック」や「乗って体感「ミニ電車」」、今年新たに実施した「タクシー運転手体験」、自転車の安全な乗り方を体験することができる「自転車シミュレーター」などが実施されました。その他にも、カーフリーデーのパネル展示やクイズ、カーフリー宣言の募集、中部運輸局施策、豊橋市公共交通施策や愛知県が進める「エコモビリティライフ」に関するパネル展示も行われました。また今年は来場者へ帰りに利用できる公共交通のきつぷを配布する新しい企画も行われました。



ほの国ハイキング出発前の記念撮影



シミュレーターで自転車の安全な乗り方を体験する様子

作成者：カーフリーデー・ジャパン

